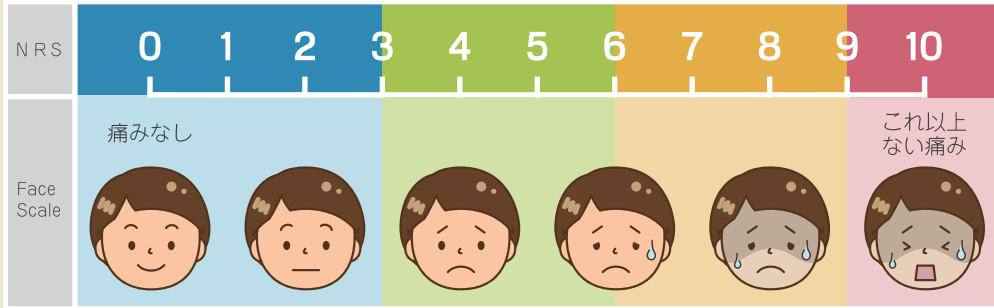


オピオイド鎮痛薬の投与経路(製剤)の変更例

評価ツール

● 身体症状の確認

◆ NRS (Numeric Rating Score) / Face Scale



※ 痛みなど、身体症状には個人差があります。

変更方法	変更(薬)	先行(薬)
先行薬の最後投与の12時間後を目安に貼付し、次回より変更薬のみ	フェンタニル貼付剤	1日1回内服製剤
先行薬と同時に貼付し、次回より変更薬のみ		1日2回内服徐放製剤(経口)
変更薬の開始2時間後を目安に先行薬の減量～中止	1日2回内服徐放製剤(経口)	静注皮下注製剤
変更薬の開始2時間後を目安に先行薬の減量～中止		
貼付6～12時間後を目安に先行薬の減量～中止		
先行薬を剥がして12時間後を目安に変更薬開始	1日2回内服製剤 静注皮下注製剤	フェンタニル貼付剤

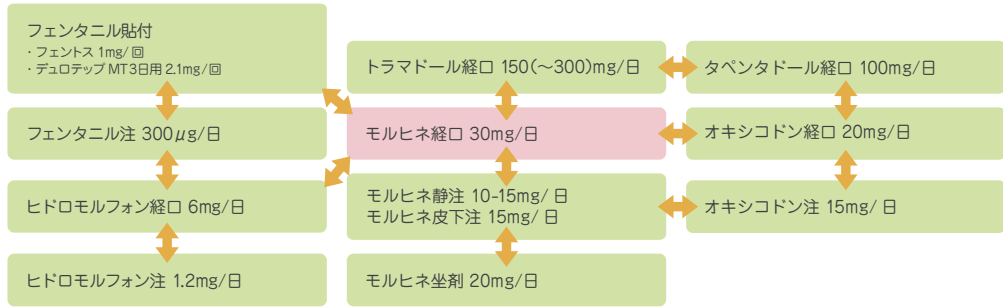
※ ご不明な際はご連絡ください。(緩和医療チーム)

◆ オピオイド鎮痛薬の投与経路(製剤)の変更例

スジ入れ

スジ入れ

● オピオイドの種類と投与経路による換算方法



*レスキュー投与量(1回) 内 服：1日量の1/6量を1時間毎再投与可
 持 続 注：1日量の1/24(1時間量)の早送りを30分毎再投与可
 フェンタニルパッカル：50μg(モルヒネ経口<60mg)/100μg(モルヒネ経口≥60mg)から開始
 (投与法は継続指示(共通)テンプレートを使用してください)
 *モルヒネ硬膜外投与は経口の1/10-1/20 くも膜下投与は経口の1/100

◀ スジ入れ

経口徐放製剤	モルヒネ	20~30(25)mg	30~90(60)mg	90~150(120)mg	150~210(180)mg	210~270(240)mg
	オキシコドン	10~20(15)mg	20~60(40)mg	60~100(80)mg	100~140(120)mg	140~180(160)mg
	ヒドロモルフォン	6mg	12mg	24mg	36mg	48mg
経口速放製剤	モルヒネ (高齢、腎障害)	5(2.5)mg	10(5)mg	20(10)mg	30(15)mg	40(20)mg
	オキシコドン	2.5mg	5~10mg	10~15mg	15~20mg	20mg
	ヒドロモルフォン	1mg	2mg	4mg	6mg	8mg
坐 剤	モルヒネ	20mg	20~60mg	60~90mg		

◀ スジ入れ

注 射 口腔粘膜吸収製剤	塩酸モルヒネ	10~15mg	15~45mg	45~75mg	75~100mg	100~140mg
	フェンタニル	~0.3mg	0.3~0.9mg	0.9~1.5mg	1.5~2mg	2~2.7mg
	オキシコドン	15mg	30mg	60mg	90mg	120mg
	ヒドロモルフォン	1.25mg	2.5mg	5mg	7.5mg	10mg
貼 付 剤 (経皮吸収製剤)	フェンタニル 1日製剤	1mg	2mg	4mg	6mg	8mg
口腔粘膜吸収製剤	パッカル錠	50μg	50 or 100μg	100μg	100μg	100μg
	舌下錠	100μg	100μg	100μg	100μg	100μg